

(答弁書第五十九号) 昭和二十二年九月二十七日配付

内閣参甲第六八号

昭和二十二年九月二十六日

内閣総理大臣 片山 哲

参議院議長 松平 恒雄 殿

参議院議員石川一衛君提出利根川及荒川堤防決壊に關しての質問に對し、別紙答弁書を送付する。

參議院議員石川一衛君提出利根川及荒川堤防決壊に關しての質問に對する答弁書

一、今回の颱風に因る異常の大出水に因り利根川堤防の決壊を見、大慘害を齎らしたることは実に痛恨に堪えない次第であります。

利根川は昭和十年及び昭和十三年の大洪水に鑑みまして増補計画を樹立し、先ずその第一期として昭和十四年より十五ヶ年計画工費約五百三十八万円を以て工事に着手して今日に至つたのであります。着工後幾何もなく戰時に突入し、工事の施工は極度の圧縮を受けましたる爲、克く緩急順序を比較致しまして眞に急を要する箇所より漸次着工致して來たのであります。今回の決壊箇所に至らぬ中に事茲に至りましたることは実に痛恨に堪えない次第であります。

これが復旧につきましては、國及び關係縣相協力してその完了の一日も速かならんことを期する次第であります。

尙事茲に至りましたる以上現在では差当り一日も速かに復旧を完了することが責任を完うする所以と信

じ関係者一同懸命の努力を致して居る次第であります。

二、最近十ヶ年間の利根川維持費の支出状況は左の通りであります。

利根川筋維持費支出額調

年 度 別	維 持 費	備 考
昭和一二	三二三、〇〇〇	維持費は築堤、護岸及水制、浚渫、掘鑿等に使用す
一三	二〇四、〇〇〇	〃
一四	三二三、〇〇〇	〃
一五	三二三、〇〇〇	〃
一六	三二三、〇〇〇	〃
一七	三二六、〇〇〇	〃
一八	三一五、〇〇〇	〃
一九	三七八、〇〇〇	〃
二〇	三七八、〇〇〇	〃

	二、一	八四〇、〇〇〇	〃
合 計		三、七五八、〇〇〇	

三、荒川堤防の決壊についても利根川同様國及び關係縣相協力して復旧の一日も速かならんことを期する次第であります。